

スイッチのアクセスポートまたはトランクポートとしてインターフェイスVLANを割り当てる

目的

仮想ローカルエリアネットワーク(VLAN)は、物理ローカルエリアネットワーク(LAN)に関係なく、デバイスがイーサネットMACレイヤを介して相互に通信できるようにするポートグループです。ポートは、VLANとの間でデータの送受信が可能な場合、VLANのメンバーです。VLAN内のポート宛てのすべてのパケットにVLANタグが付けられていない場合、ポートはVLANのタグなしメンバーです。ポートは、そのポートを宛先とするすべてのパケットにVLANタグが付いている場合、VLANのタグ付きメンバーです。VLANは通常、エンドポイントをワークグループとして分離するために使用されます。基本的な例として、音声用に別のVLANを、データ用に別のVLANを設定します。これにより、両方のデータタイプのパケットが互いに分離され、スイッチの使用率が最大化されます。

インターフェイスVLANは、アクセスポートやトランクポートなどの特定のモードに割り当てることができます。

- アクセスポート：割り当てられた特定のVLANとの間でのみトラフィックを伝送するポート。
- トランクポート：特定のスイッチからアクセス可能な任意またはすべてのVLANのトラフィックを伝送できるポート。

この記事では、スイッチのインターフェイスVLANをアクセスポートまたはトランクポートとして設定する方法を説明します。

該当するデバイス | ファームウェアのバージョン

- Sx250シリーズ | 2.2.0.66 (最新の[ダウンロード](#))
- Sx350シリーズ | 2.2.0.66 (最新の[ダウンロード](#))
- SG350Xシリーズ | 2.2.0.66 (最新の[ダウンロード](#))
- Sx550Xシリーズ | 2.2.0.66 (最新の[ダウンロード](#))

インターフェイス設定

ステップ1: Webベースのユーティリティにログインし、[VLAN Management] > [Interface Settings]を選択します。



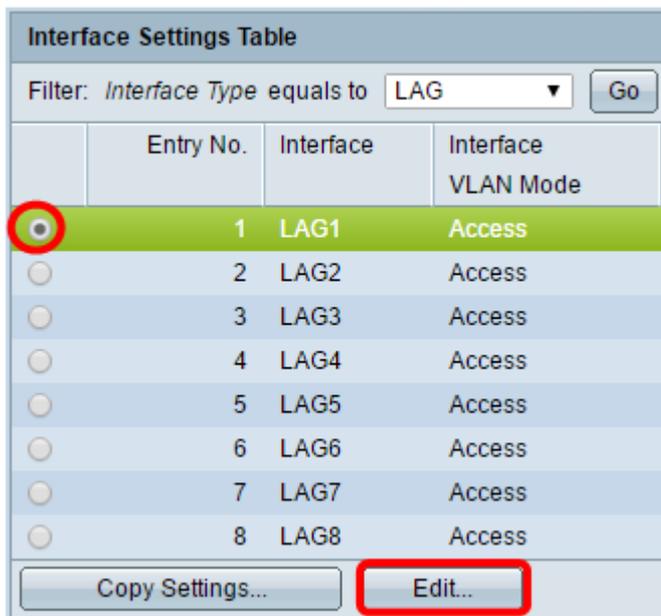
ステップ2:[Interface Settings Table]で、[Interface Type equals to]ドロップダウンリストからインターフェイスを選択し、[Go]をクリックします。次のオプションがあります。

- [Port]:1つのポートだけを設定する必要がある場合は、[Port]を選択します。
- Link Aggregation(LAG):LAG設定で定義されたポートのグループを設定する場合は、[LAG]を選択します。

注：次の例では、LAGが選択されています。



ステップ3：変更するポートまたはLAGのオプションボタンをクリックし、[Edit]をクリックします。



ポップアップウィンドウが表示され、前のページで選択したインターフェイスタイプが表示されます。

Interface: Unit 1 ▼ Port GE1 ▼ LAG 1 ▼

Interface VLAN Mode: Access
 Trunk

Apply Close

ステップ4：インターフェイスの目的のVLANモードに対応するオプションボタンを選択します。

- アクセス：インターフェイスは、単一のVLANのタグなしメンバーです。
- トランク：インターフェイスは最大1つのVLANのタグなしメンバーであり、1つ以上のVLANのタグ付きメンバーです。

Interface: Unit 1 ▼ Port GE1 ▼ LAG 1 ▼

Interface VLAN Mode: Access
 Trunk

Apply Close

注：この例では、[Trunk]が選択されています。

ステップ5:[Apply]をクリックします。

Interface: Unit 1 ▼ Port GE1 ▼ LAG 1 ▼

Interface VLAN Mode: Access
 Trunk

Apply Close

ステップ6：ページに、設定が成功したことを示すチェックマークが表示されます。[Close] をクリックします。

Success. To permanently save the configuration, go to the [File Operations](#) page or click the Save icon.

Interface: Unit 1 ▼ Port GE1 ▼ LAG 1 ▼

Interface VLAN Mode: Access
 Trunk

Apply Close

インターフェイス設定テーブルに戻ります。

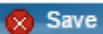
ステップ7：最近の設定を確認するように設定したインターフェイスモードを確認します。

Interface Settings

Interface Settings Table

Filter: *Interface Type* equals to

	Entry No.	Interface	Interface VLAN Mode
<input type="radio"/>	1	LAG1	Trunk
<input type="radio"/>	2	LAG2	Access
<input type="radio"/>	3	LAG3	Access
<input type="radio"/>	4	LAG4	Access
<input type="radio"/>	5	LAG5	Access
<input type="radio"/>	6	LAG6	Access
<input type="radio"/>	7	LAG7	Access
<input type="radio"/>	8	LAG8	Access

ステップ8：現在の構成を永続的に保存するには、アイコンをクリック  **Save** します。

これで、スイッチのインターフェイスVLANが正常に割り当てられました。